



「古町スイーツ」で地域の魅力を発信（4年生）

新潟小学校



「来てみて・食べて・行ってみる」学校周辺の新潟島の歴史や文化、名所など、地域の自慢をスイーツで表しました。「古町スイーツ」は、おいしさと新潟市の魅力再発見のコラボレーションです。

これまで「古町スイーツ」に携わってくださった地域の方の声を聴きました。



中心商店街協同組合の佐藤さん
「まちをもっと元気にしたい」という地域の菓子職人の思いや願いから、「古町スイーツ」は生まれたんですよ。

そして…

そうだったんですね。佐藤さんのお話をお聴きして、私たちの大好きなまちのよさを、スイーツを通してたくさんの人に広めたいと思いました。



古町スイーツ2017「これが、わたしたちの地域の自慢！」

『萬代橋』

初代萬代橋は明治19年にできました。今の萬代橋は三代目になります。アーチが美しいだけでなく、新潟地震での大きな揺れにも耐えた頑丈な橋です。私たちの大切な古町・本町と、万代や新潟駅を結ぶ重要な橋です。

『ツインくる』

ツインくるは、平成27年9月に運行を開始しました。赤と黒のおしゃれなデザインが目立つ素敵なバスが地域を走ります。2台分のバスが連節され、たくさんの方が利用できます。全国でも貴重なバスです。

『異人池』

今はもうない異人池。今からおおよそ100年前、西大畑の教会の方が井戸をほった時にあふれた水が池になったものです。夏は釣り、冬には下駄をはいてスケートなど、最高の遊び場だったそうです。最近では近辺が映画ロケ地にもなっています。



これまでに見つけた「地域の自慢」をスイーツとして形にしよう。

『一日店員(古町・本町商店街)』

私たちは3年生の時、古町・本町の商店街で一日店員をしました。その中で、お客さんに感謝の気持ちを伝える「ありがとう」という言葉や、笑顔の大切さを学びました。

『新潟花火』

かつては三尺玉も打ち上げ、日本一の花火大会と言われた新潟花火。今では、ナイアガラ花火や、音楽と共に打ち上げられるエポリューション花火が新潟の夏を輝かせています。

『百貨店の遊園地』

昔、古町の百貨店の屋上には、大人から子どもまでが楽しめる遊園地がありました。レールが建物の外にまで飛び出したモノレールは迫力満点で一番人気！たくさんのお客さんでにぎわう古町は、まさに新潟の中心でした。

『堀と柳』

約400年前、古町・本町に堀と柳ができました。堀は、様々な舟が行き来し、港町としての繁栄を支えました。また、西堀の脇にある柳の木は、町を代表する景観でした。

『北前船』

北前船とともに発展した新潟の港は、来年150周年を迎えます。北前船のお話も「日本遺産」に認定され、今、新潟はお祝いムード一色です。金比羅神社には、北前船の模型が28点も展示されています。

- 「古町スイーツ」は、新潟小学校の4年生が、地元商店街を盛り上げようと、平成22年度から始めました。平成29年度のテーマは、「古町・本町PR大使！GOGOわれらの甘キャラ8（エイト）」でした。
- スイーツと地域の自慢をもっともっとPRするために、「甘キャラ（スイーツごとのゆるキャラ）」を考えました。



地元古町の空き店舗を活用した「たんぽぽふれあい広場」前で、わたしたち「甘キャラ」も一緒に発表会を行いました。



事前の調査結果から、もっと多くの人に古町スイーツを知っていただくために、ポスターの文字を大きく、画像も入れて作りました。

ぼくは連節バスの甘キャラ「ミラクルツインヒーロー」だよ。ぼくの他にも、全部で8体の甘キャラが登場して、スイーツと新潟の魅力をPRしました。

おいしいスイーツを食べて、ぜひ新潟の魅力にふれてください！

子どもの声



「古町のよさを伝えたいという思い」「お客さんが期待する味」「職人さんの作りやすさ」という三つの観点を決めて、何度も何度も話し合い、よいデザインを決めました。その結果、お客さんの反応が良く、2回も買いに来てくれた方がいて、とても感激しました。これからも、たくさんの方がまちに来て、にぎわってほしいと思います。



事前に古町に飛び出し、スイーツのPR活動を行いました。そこで感じたのは「まちの人のやさしさ」です。「これはどんなスイーツなの？」「明日、行ってみようかしら。」など、興味をもってくださいました。とても嬉しい気持ちになり、もっともっとまちのよさをPRしようと思いました。



ぼくは、活動の中で広告配りを特に頑張りました。最初は短い言葉で声を掛け、次に詳しい説明が書かれた広告を渡すなど工夫しました。また、大きな声と笑顔で配ると、多くの方が立ち止まってくださったのでうれしかったです。スイーツを買ってくださった方へあげた解説本も好評でした。